

**【資料1】「アジアの中の日本」（8月15日にNHK放映）で実施した「小泉首相が靖国神社に参拝することの是非」の生アンケート（携帯電話）への世代別アクセスデータ**

参拝に、賛成 63%、反対 37%（8月18日～20日に実施した電話アンケート 45%：43%）  
8月15日に担当ディレクターから送られてきた世代別アクセスデータと総務省の「日本の世代別の人口構成比率」の比較

	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代
日本の人口構成	18.8%	12.4%	14.6%	12.4%	15.0%	26.8%
NHKアクセス数	8.6%	14.7%	23.2%	22.8%	21.1%	9.6%

**【資料2】NHK大河ドラマのテーマの変遷**

花の生涯（1963年）、赤穂浪士（64）、太閤記（65）、源義経（66）、三姉妹（67）、竜馬がゆく（68）、天と地と（69）、樅の木は残った（70）、春の坂道（71）、新平家物語（72）、国盗り物語（73）、勝海舟（74）、元禄太平記（75）、風と雲と虹と（76）、花神（77）、黄金の日々（78）、草燃える（79）、獅子の時代（80）、おんな太平記（81）、峠の群像（82）、徳川家康（83）、山河燃ゆ（84）、春の波濤（85）、いのち（86）、独眼竜政宗（87）、武田信玄（88）、春日局（89）、翔ぶが如く（90）、太平記（91）、信長（92）、琉球の風（93.1-6）、炎立つ（93.7-94.3）、花の乱（94.4-12）、八代将軍吉宗（95）、秀吉（96）、毛利元就（97）、徳川慶喜（98）、元禄繚乱（99）、葵 徳川三代（00）、北条時宗（01）、「利家とまつ」～加賀百万石物語～（02）、MUSASHI（03）、新撰組（04）、義経（05）、功名が辻（06）

**【資料3】NHK予算等の国会承認制をめぐる国会での質疑**

「公述人（河田進君） 私は放送協会の職員でございます。職員ではございますが、現在選ばれて、日本放送労働組合の役員をいたしております……。<中略>

殊に問題となりますのは、国会は何といつてむ、デモクラシーの原則に従いまして、これはすべての討議を多数決によつて処理して行くところでありまして、ところが放送、言論機関である放送は、その多数決に至るまでの国民の一人一人の、隅から隅までの或いはそれぞれの立場からの完全な少数者と雖も、その声を全国に伝えて、共に討議の糧となるべきものを提供するところでありまして、その討議の糧となつたものから議論が発達いたしまして、法案が成文化され、国会にかけられるならば、これはやはり多数決でやつて行かれるのは結構でございます。」

（1950年2月1日、参議院電気通信委員会議事録より）

**【資料4】日の丸・君が代の放送をめぐる政府見解**

（政府として、日の丸・君が代問題に関する放送のあり方をどう考えるか、との質問に対して）

「国務大臣（野中広務君） 憲法十九条を中心といたしまして、また我が国放送法の定めるところによりまして、今、山本議員がおっしゃる問題点は一つ一つ私自身にもよく理解をされ、問題提起をされた問題として受けとめるわけでございますけれども、先ほど申し上げましたように、憲法並びに放送法に照らして私ども政府がこの場で申し上げるべき立場にございませんことを御了承賜りたいと思うわけでございます。」

（1999年7月30日、参議院国旗及び国歌に関する特別委員会会議録より）